

「集う・つながる・創りだす」 ～新たな市民活動の機会の創出～

1. 様々な発信の「集う」拠点施設として

・様々な団体・組織・グループと連携し、多くの市民が集う文化・芸術の発表の場として施設運営を行います。

2. 地域の人と協働して「つながる」

・地元商店街や商工会議所会員、サークル、大学などの協力・連携のもと、本施設の企画を実施し、既存の枠を超えた市民交流の場をつくります。

3. 新たな文化や仕組を「創りだす」

・継承された既存の文化から、現在でも活かせるものを拾い出し、現状に合わせて形づけます。
・ファシリテーターを配置し、ファシリテーターを中心に新たなつながりや文化を醸成します。

南館・
子どもスペース

子どもの居場所づくり

・「学習」と「スポーツ」を両立させ、バランスの取れた子どもの育成を目的とし、**寺子屋事業**を実施いたします。プレイリーダーを中心に、市民ボランティアと連携し、**親が安心して預けられる環境を創出**いたします。
・オリンピックを招聘したイベントを開催し、市民のスポーツ機運、大会機運の醸成を図ります。



南館 見晴らしデッキ

公園

地域住民が他の防災訓練を行い、 防災意識の啓発に努めます

・公園（野球場、パークゴルフ場、多目的広場、児童公園）は、既存資産の有効活用に重点を置き、**必要以上の改変を行わない計画**とします。
・**防災用施設や用具の利用を体験してもらいイベントを開催**します。合わせて災害時の救助方法についても学ぶ機会を設けます。防災訓練を年1回実施します。



芝生の小広場

民間付帯事業
(定期借地)

にぎわいを感じられる自由通路 PFI事業との連携

・大学駅前商店街から続く「**大久保にぎわいライン**」を**連続させ**、本事業計画地へにぎわいを誘えるように、新規他館へのアプローチに面して**カフェを誘致**します。
・入居者は一定水準の審査・面接を経て、**地域貢献や地元とのボランティアなどの意向がある有居者を優先的に入れ**、コミュニティーハウスとしてふさわしい入居者を集めます。



自由広場（民間付帯事業）